

講義名	19～ドイツ語 /15～ドイツ語初級		
担当教員	海老原 由美子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限	授業形態	講義

履修開始年次	2年生	単位数	2	備考	
---------------	-----	------------	---	-----------	--

主題と概要
<p>ドイツ語入門（ドイツ語 ）で学んだドイツ語を復習しながら、様々な新しい場面での表現を学び、体験学習を重ねます。ドイツに語学留学した Seiko に自分を重ね合わせ、満足に行ってみましょう。待ち合わせはどこで、何時に？あるいはまた、パーティーに行ってみましょう。昨日パーティーで何を飲んだの？パーティーの後、何をしたの？ 初めて、過去について話せるようになります。やがて訪れるクリスマス、シルベスタ（大晦日）新年、ドイツではどんなことをするのでしょうか。日本では？を役をどう表現したらいい？ 二つの国の人々の祝祭の過ごし方について学びます。聖子はベルギー一家の旅行で留守番の大役も果たします。教科書は、留学の一年が終わり、お別れパーティーまでを扱っていますが、初級では、この留守番の大役を果たしたところ（L10）まで進んで終了です。実際に使える身近な表現を学んだ後に、文法の規則性に気づく、このプロセスを大事にして文法を学びます。まずは表現を学び聞き、声に出して体験学習し、文法へ、すべて、ペアかグループワークとなりませす。ドイツ語と取り組みながら、ランデスンテ（文化や習慣）も学びましょう。なお、初級では、教科書のL5から始めますので、L1～L5を、すでにドイツ語入門、あるいはドイツ語 で履修済みであることが、履修条件です。</p>

到達目標
<p>Lektion7では、去年のこと、昨日したことなど、過去の表現ができるようになります。また、Lektion8&9では、ドイツで最大の祝祭、クリスマスの様々な習慣をドイツ語で表現したり、日本の大晦日や新年についての表現を学んで、ドイツと日本の間の異文化理解への一歩を踏み出すこともできるようになります。留学生の方々も自国の祝祭文化と比較してみてください。自国の文化を表現することは意外に難しいのです。是非、その機会に、祝祭に関するドイツ語表現をマスターして欲しいと思います。もちろん、初級ですから、簡単な表現からはじめましょう。Lektion10では、ベルギー一家の旅行を参考に、山へ行く、海へ行く、など様々なドイツでの休暇の過ごし方を表現できるようになります。いつかドイツへ旅する時に使える表現です。</p>

提出課題
<p>毎回の授業の復習として、教科書に添付されたワークシートはもちろん、教科書の内容を補うワークシートの提出が課題となります。週に一度の授業ですので、この課題提出は評価の重要なポイントとなります。</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
<p>提出物はメールに添付して提出していただきます。添削しての返却はできませんが、コメントをお返しします。一週間後に締め切り、模範解答を送信します。自分はどこが分かっていないのか、コメントとともに、よく復習してください。</p>

評価の基準
<p>平常点（提出物 - 30%） 30% 筆記試験（中間テスト - 20%、期末テスト - 20%） 40% 発音チェック（中間 - 15%、期末 - 15%） 30%</p> <p>中間&期末、いずれも、発音チェックと筆記テストを行います。授業を録音したmp3を配信、また授業で使用したパワーポイントを配信しますので、オンライン上での発音チェックを行ってください。日頃から発音していないと、会話はできないものです。また、Teams 内での課題機能を用いて筆記テストを行います。なお、テストとは、学んだ表現・語彙の成果を問うものであることを認識してください。</p>

履修にあたっての注意・助言他
<p>教科書（ワークブック付き）は必ず、早めにご購入してください。大学で売り切れの場合には、出版社である三修社での購入がお勧めです。QRコードから音声ダウンロードできます。（URLからはしないでください。）</p> <p>https://www.sanshusha.co.jp/text/isbn/9784384123036/</p> <p>アマゾンでの購入はお勧めできません。なぜなら、この教科書は20年以上もの間、時代に即した表現を取り入れるために、繰り返し改訂を重ねて来たため、オンライン上に複数の同名の教科書が存在しているからです。過去にも誤って過去の教科書を購入してしまった学生の方が複数いました。なお、出版社とアマゾンでの購入は同等です。</p>

備考
<p>授業には継続して出席することを心がけてください。毎回出席し、発音し、表現し、文法を学ぶ、日々の積み重ねによってしか、語学の上達はありません。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合があります。全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。</p>

教科書	『自己表現のためのドイツ語1<プラス>』				
	板山眞由美	堀路ウルズラ	本河裕子	吉満たか子	三修社
					12600
					978-4-384-12303-6

プリント資料及び参考文献
<p><推薦辞書・サイト> アポロン独和辞典 同学社 / 辞書サイト glosbe</p> <p>その他、ネット上には、様々な辞書サイトがあります。積極的に、スマートフォンやタブレットを用いて、意味を調べてください。ただし、表現に関しては、教科書の表現が最もドイツ人が普通に使う表現であり、それを学ぶことが何よりも優先されます。なお、各課の単語リストを配信します。</p>

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> L6 満足に行こう 「今日の日程、時間ある？」 「～する気はある？」と誘う表現を学ぶ。 L6 満足に行こう 「何時にどこで待ち合わせる？」 前置詞を学んで場所を表現する。 L6 まとめ L7 パーティーの後 「何を飲んだの？」 habenを使って現在完了形で過去を表現する。 L7 パーティーの後 「昨日何時に帰宅したの？」 sein を使って現在完了形で過去を表現する。 L7 まとめ L8 クリスマス ドイツのクリスマスの過ごし方1 クリスマス市での買い物。 L8 クリスマス ドイツのクリスマスの過ごし方2 贈り物のシーズン。「～に・・・を贈る」の表現。 中間テスト L9 大晦日の晩 ドイツの大晦日の（シルベスター）晩の過ごし方。 L9 大晦日の晩 日本の大晦日の（シルベスター）晩の過ごし方。 L9 のまとめ L10 ベルギー一家の旅行 旅行の準備。「聖子が一緒に旅行しないのは残念だわ」 L10 ベルギー一家の旅行 留守番の聖子がベルギー一家の不在を伝える。間接疑問文や従属接続詞を使って表現の幅をさらに広げよう。 まとめと期末テストの準備

授業形態（アクティブ・ラーニング）								
<table border="1"> <tr> <td>ア：PBL（課題解決型学習）</td> <td>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</td> </tr> <tr> <td>ウ：ディスカッション、ディベート</td> <td>エ：グループワーク</td> </tr> <tr> <td>オ：プレゼンテーション</td> <td>カ：実験、フィールドワーク</td> </tr> <tr> <td>キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）</td> <td></td> </tr> </table>	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク	オ：プレゼンテーション	カ：実験、フィールドワーク	キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）							
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク							
オ：プレゼンテーション	カ：実験、フィールドワーク							
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）								

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>復習を重視します。復習プリントを必ず課題とします。それが次回の授業への理解に繋がります。復習する習慣をつけてください。音声を繰り返し聞く、これだけでもかなりドイツ語は上達します。授業でトレーニングした会話文を音読する、新しく学んだ単語を書き出すなど、いろいろな方法を取り入れてみましょう。毎回時間程度の復習をよろしくお願いします。</p>

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
<p>ドイツは経済的にも政治的にもEU・ヨーロッパの最も重要な国の一つです。ドイツ語を学ぶことで、EU・ヨーロッパの理解を深め、国際的な視点を養います。ドイツ語入門、あるいはドイツ語 から継続して学べば、初級のドイツ語の土台作りは一通り終わり、日本におけるドイツ語検定の受験が可能となります。また、ワールドスタンダードである、EUの基準に沿った、ゲーティンスティチュートにおける検定も受験可能です。</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、Teamsを用いて双方向リアルタイムオンライン授業へとシフトします。Teams にもブレイクアウトセッションがあり、対面授業と同様にペアワーク、グループワークが可能です。会話する状況をより多く作っていきたいと思います。また、通字も読者や講師の役により対面授業に参加出来なかった方のために、また復習のために、授業を録音したmp3の配信、授業中使用したパワーポイントの配信をします。発音のトレーニングはいずれの場合も、繰り返しを行い、発音テストに備えてください。また、授業開始後に、Teamsのクラス編成を行いますので、クラスノートブックへの承認申請を忘れず行ってください。</p>

実務経験の有無及び活用

備考
<p>授業には継続して出席することを心がけてください。毎回出席し、発音し、表現し、文法を学ぶ、日々の積み重ねによってしか、語学の上達はありません。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合があります。全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。</p>